

光和小学校新校舎施設概要

～21世紀にふさわしい学校づくりをめざして～

このたび、校舎の「耐震性の問題」から改築工事をすすめてきた、光和小学校の新校舎およびプールが、平成14年7月の着工から約1年8ヶ月を経て、2月末に完成しました。

仮設校舎の設置後、旧校舎を解体し、その跡地に新校舎とプールを建設したものです。

「21世紀にふさわしい学校づくり」を目標として建設をすすめた、新しいデザインと機能をもつ新校舎の完成に、地域の方々をはじめ児童らの喜びも大きいと感じています。



1 施設の特徴

(1) 教育内容の多様化に対応できる教育環境の整備

普通教室を学年一体型のオープンスペースとし、可動壁により、目的に合わせた多様な空間づくりを可能にしました。

また、さまざまな学習活動が可能となるよう、2階、3階中央に、可動間仕切を設置した多目的教室、昇降口前には、「調べ学習の中心地」として図書室・パソコン室を配置しています。



(2) 「児童の生活の場」としての環境整備

学校は、児童にとって一日の大半を過ごす大切な生活の場。

テラス、ピロティー、ふれあいコーナー、トイレベンチなど、子供たちが自分の居場所として楽しく思い出に残る場所を随所に整備しました。

また、教育相談室、児童更衣室、保健室のトイレ・シャワーを新設しています。



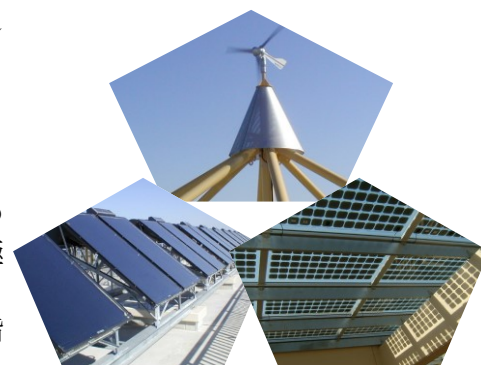
(3) 施設のバリアフリー化

エレベータやスロープ、自動ドア、だれでもトイレの設置を行い、すべての人が快適に利用できるよう配慮しています。

(4) 環境に配慮したエコスクール化

太陽光発電や風力発電をはじめ、太陽熱給湯、雨水のトイレ洗浄水利用など、全天候の自然エネルギーを積極的に活用し、環境学習にも生かせるよう計画しました。

文部科学省のエコスクールパイロット・モデル校に指定されています。



(5) 地域防災の拠点としての機能強化

仮設トイレ用マンホール蓋、プール水の災害用ろ過装置、受水槽緊急遮断装置、室内型温水プールシャワー、災害用公衆電話端子などを設置し、地域防災の拠点としての機能を強化しました。

(6) 地域に開かれた学校施設づくり

地域の方々にも身近に利用できる施設として、旧校舎の一部を改修し「なごみ館」として整備しました。新校舎も、学校と地域との連携を深める場として、利用区画を明確化し開放利用の充実を図っています。

2 施設の概要

■ 新校舎

鉄筋コンクリート造 3階建

建築面積 3,218 m²

延床面積 7,870 m²

3階 普通教室(12室)、多目的教室、理科室

2階 普通教室(12室)、生活科室、児童会室、多目的教室、第一音楽室、第二音楽室

1階 校長室、職員室、事務室、主事室、応接室、保健室、教育相談室、会議室、給食室、図書室、パソコン室、図工室、被服室、家庭科室、放送室、書庫、印刷室、児童更衣室、管理室、昇降口

その他 テラス、だれでもトイレ、ふれあいコーナー、エレベータ、屋外トイレ

■ プール

鉄筋コンクリート造 25m×6コース

延床面積 184 m²

更衣室、トイレ、温水シャワー、管理室、器具庫

■ なごみ館

既存校舎の増築・改修

鉄筋コンクリート造 3階建

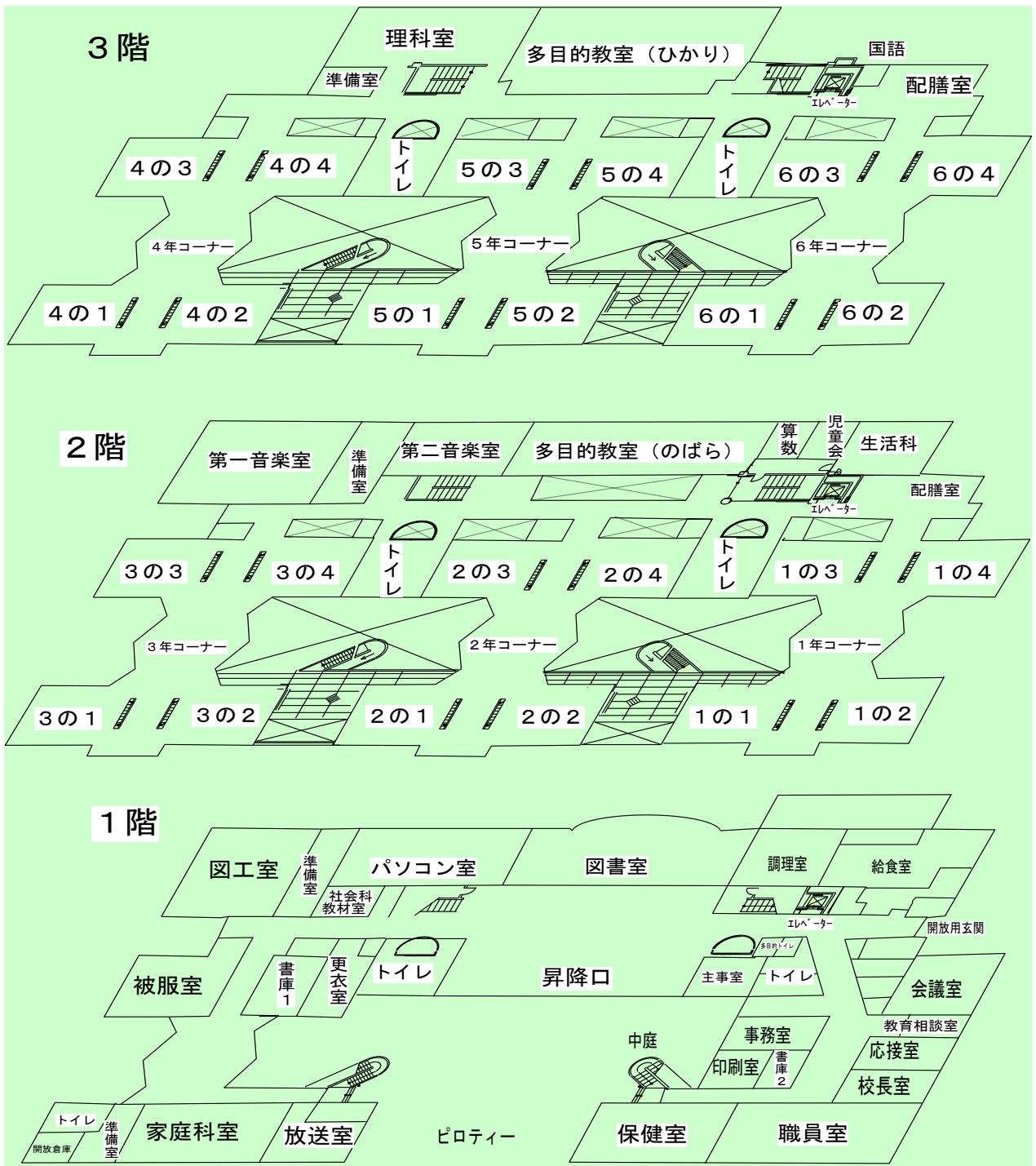
延床面積 470 m²

会議室、和室、PTA会室、管理室

(設計) 株式会社 JFE設計 (旧 川鉄エンジニアリング)

(施工) 建築工事 内野・河端・藤島建設共同企業体
機械設備工事 竹村・望月・大泉建設共同企業体
電気設備工事 三球・望月・福井建設共同企業体
昇降機工事 日東エレベータ株式会社
太陽光発電設備工事 日本電池株式会社東京支社
風力発電設備工事 三球電機株式会社
レリーフ 金属工房セブンポイント

新校舎平面図



学校の概要

所在地 東京都練馬区石神井町二丁目16番34号

沿革 昭和30年4月 1日 光和小学校設立認可
 9月 1日 校章制定(八幡健二氏の野ばらの図案による。)
 40年3月25日 校歌制定

児童数 803人(平成16年3月現在)

学級数 22学級

校長 寺崎 千秋